

KUMAMOTO YMCA NEWS

THE YOUNG MEN'S CHRISTIAN ASSOCIATION

YMCA August 2015 vol.519

8



みんなで湧々座へ！ 上通日本語学校 夏期集中コース

- C O N T E N T S**
- ① 日米友情人形交流
ギューリック三世夫妻来熊
 - ② ネパール大地震災害支援を考える企業交流会
水上安全キャンペーン・みんな泳げる25M運動
YMCA水前寺幼稚園「Yっこ教室」スタート
 - ③ キャンパーズコネクション
サザンキャンプ・スマイルキャンプ
REPORT YMCAフィランソロビー協会社会貢献
献セミナー/2500回記念熊本朝橋会
 - ④ タラント No.17 「共に歩むこころ」
Topics YMCA学院/東部YMCA

戦後70年 平和について考える 日米友情人形交流 ギューリック三世夫妻来熊

1927年の日米友情の人情交流の提唱者であるシドニー・ギューリック。その孫に当たるギューリック三世夫妻が5月27日(水)に来熊しました。

滞在中は、熊本YMCAの各地域YMCAを訪問。黒川保育園に新たな人形を贈呈しました。28日(木)に行われた熊本ワイズメンズクラブ例会では、熊本YMCA元総主事の小山哲夫さんが日米友情人形交流と熊本の関係振り返り、ギューリック三世からは、新たな人形が日本子どもたちと友情を築いてほしいとメッセージが送られました。今回はその内容を紹介します。

ギューリック一世は、1888年、妻カラと日本最初の地として来熊。L・L・ジェーンズが教師をした熊本洋学校の流れをくむ熊本英学校(熊本YMCA初代理事長の福田令寿さんは第一期生)の教師、草葉町教会の宣教師として赴任し、現在の徳富記念館に住みました。その後、大阪、松山、京都などで、牧師、神学者として活動。1913年の帰国後に待ち受けていたのが、日本人移民排斥運動でした。ギューリック一世は当時のウイルソン大統領に面会し、日本社会への理解を訴えます。その働きは世界の子どもたち

わたしと聖句

箴言 15章31節

命を与える徳らしめに聞き従う耳は
知恵ある人の中に宿る。

いのちに至る言葉との出会い

夏になると、ふと中学2年生の時に
行ったキャンプを思い出す。思えば、
この時が聖書の御言葉との初めての
出会いだった。

キャンプの最終日、施設の責任者の
方が書いた色紙を賭けて、皆でジャン
ケンをした。勝負事に弱い私が、あれ
よあれよと勝ち続け、とうとう色紙を
勝ち取ってしまったのだ。その色紙に
は、文語の言葉で『為になる戒めを聞
く耳をもつ者は、知恵ある者の中にと
どまる』と、書かれてあった。文末に
『箴言 十五章三十一節』とあり、『こ
の』箴言』とは何だろうか？いつかこれ
を読んでみたい』と、強烈な印象を受
けたことを今でもはっきり覚えてい
る。

施設の方が、どんな気持ちでこれを
書いて贈ってくれたのか、それは
もう分からないが、この御言葉は私の
中に留まり続け、気付けば今は牧師と

して歩んでいた。贈った方も、おそら
くそこまでは想像もしていなかった
だろう。

牧師を続けていると、聖句には、確
かに人の生き方を変える力がある。こ
とを日々実感させられている。そんな
聖句と出会った人たちは、不思議な強
さを持っているのだ。

書齋に掛けられたあの色紙も、時折
弱ってしまう私を力づけ、今日を生ぎ
る力を与えてくれている。

日本バプテスト連盟
菊池シオンキリスト教会
濱川 耕一

の平和を考えるきっかけになり、「世界児童親善会」を発足させ、メキシコ、フィリピンの子どもたちにも玩具などのプレゼントを贈りました。

ひな祭りの行事や日本の子どもたちが人形を大切にすることを知っていたギューリック一世は、子どもたちへ「平和の使者」として人形を贈ることにしました。1927年、在米のキリスト教会、YMCA、YWCA、ボーイスカウト等が協力し約12,000体の人形を日本へ贈呈。熊本にも189体の「人形大使」が贈られました。日本各県より答礼人形として、市松人形58体が、全米各州に向け海を渡りました。熊本県はルイジアナ州に贈り、ニューオーリンズのルイジアナ州立博物館に飾られました。

しかし、第二次世界大戦中、日本へ贈られた人形大使は、敵国のスパイとみなされ、多くが破壊されました。今日、当時の人形が日本に残る数は約300体。



黒川保育園に人形を贈呈



YMCA学院日本語科の留学生とも交流

1986年5月「横浜人形の家」開館式では、戦禍を免れた幾体かの人形が飾られ、ギューリック三世を迎えて新しい日米友情人形交流がスタートしました。

熊本でも人形交流の調査が始まり、熊本YMCAを事務局に、地域の人々や同志社大学の協力を得てプロジェクトが進みました。1988年にはギューリック三世夫妻を招き、県内の鏡小学校、宮原小学校、碩台小学校に新たな人形を贈呈。州立博物館で、すでに行方不明となっていた旧市松人形に替わり、熊本からも新答礼人形の阿蘇鏡子・阿蘇健太郎をルイジアナ州へ贈りました。ニューオーリンズYMCAで管理展示されていましたが、2005年のハリケーン・カトリナの被害により流失。2007年に熊本ロータリークラブと熊本YMCAが協力し新しい人形阿蘇鏡子を贈呈し、現在でもニューオーリンズYMCAに展示されています。

ギューリック三世は、その後も、熊本の小学校・幼稚園・保育園へ人形を贈り続け、今年もYMCA黒川保育園に新友情人形・カラが贈呈されました。

来年は、熊本バンドが生まれて140周年です。人形交流にも熊本バンドの志が受け継がれています。ギューリック三世夫妻が伝え続ける人形たちに込められた日米友情の平和を、これから将来を担う新しい世代の人たちにも語り継いでいきたいものです。

人形に平和の願いを込めて ギューリック三世



再び熊本を訪問でき、熊本の皆さんと集えたことに感謝します。1986年に「横浜人形の家」に招かれ、素晴らしいセレモニーと、世界中の人形が展示された施設に感動しました。また、人形を贈るために全国各地の小学校を訪問し、子どもたちの人形への愛にあふれた表情を見て、この活動を広めることで、アメリカと日本の良好な関係が、さらに築けると確信できました。

これまでの約30年の間に250体の友情人形を贈りました。人形自体は購入しますが、妻・フランシスが手作りした洋服を着せ、名前を付け、パスポートを作り、一体一体の人形に命と個性を吹き込んでいます。それも、これらのお人形が日本の子どもたちと友情を育んでほしい、幸せに過ごしてほしいという思いがあるからです。

祖父は、「もし平和を望むなら、よい行い、相互理解を子どもたちにこそ伝えなければならぬ」と話していました。私たちの人形交流が、子どもたちへ、そして、皆さんへの平和のメッセージになるとを心から願っています。

ネパール地震災害支援

企業交流会を開催



募金活動の報告などがありました。地方都市の被害や、留学生の家族や地域の人々の困難など、テレビなどでは報道されにくい現地の現状報告に、参加者は真剣な表情で聞き入っていました。

6月26日(金)、中央YMCAで約40名が参加して開催された「熊本YMCA企業交流会」。当日はYMCA学院日本語科で学ぶネパールの留学生2名も参加し、今年4月に発生したネパール地震の被災の様子、熊本YMCAによ

る募金活動の報告などがありました。地方都市の被害や、留学生の家族や地域の人々の困難など、テレビなどでは報道されにくい現地の現状報告に、参加者は真剣な表情で聞き入っていました。第2部は和やかな雰囲気の中で交流会がスタート。参加者同士で会話が盛り上がる中、参加企業によるアピールタイムもあり、ユーモアあふれる内容に大きな歓声が何度も上がりました。えがしらクリニックの江頭佳子さんは、「各企業の方々と知り合うことができ、大変有意義な時間を過ごせました。また、ネパールの現状を直接聞き、私たちにできる継続的な支援をしたいと思いました」と話しました。



ギリ・カンチャンさん



パウデル・ラム・サーリックさん

ネパールは小さな国で、経済状況はよくありませんが、世界遺産に登録されている場所も多い美しい国でした。しかし、4月25日の地震で有名な寺院や史跡も壊れてしまい、家族が住む家は半壊しました。日本語科で学ぶネパールの留学生16名は皆心配で国に帰りたいのですが、何もできないでしょう。私たちは将来の夢に向かって学びを続けるためにも、熊本で頑張ろうと思っています。

地震で多くの人が亡くなり、余震は

今も毎日のように続いていて、被害は拡大しています。世界各国から多くの人が支援に来てくださいましたが、地方にはまだ支援の手が届いていないようです。

ネパールは雨期ですが、30万人ほどの人は住む家が壊れ、テントで暮らしていると聞いています。食べ物や飲み物、薬などは不足しており、トイレもありません。夏になると重い病気が流行するのではないかと心配です。生き残った人々の生活は、世界から忘れかけられたところから、大変になるでしょう。

熊本YMCAではすぐに募金活動を行ってくれ、私たちは本当にいい国に留学できたとうれしく思っています。熊本の皆さんからの募金に、心から感謝しています。これからもどうか、ネパールの人たちを助けてください。

子どもたちのいのちを守る

水上安全キャンペーン・みんな泳げる25M運動

YMCAでは、海や川、またプールでの水遊びで水難事故が多発する夏の季節を目前に、安全で楽しい夏を過ごせることを願い、様々な活動に取り組んでいます。

子どもたちに水の事故を防ぐための知識と技術を伝える「水上安全キャンペーン」では、洋服を着たまま水に入る着衣体験を実施。普段水着で水泳をしているときとの違い、体が動かしにくいことなどを体験し、学びを深めます。この活動は、YMCAの水泳教室の他、地域の多くの保育園や幼稚園、小学校でも水上安全講習会として、展開しています。

6月28日(日)、むさしYMCAでは、全国YMCA水上安全の日の一環として、近隣の幼稚園・保育園の園児たちを対象に親子着衣体験を行いました。子どもだけでなく、保護者も一緒に理

解を深め、いざというときの行動を実践し、経験することができました。

また「みんな泳げる25M運動」と称して、水泳に苦手意識を持つ地域の小学校の子どもたちをYMCAのプールに招いて水泳教室を実施。今年もすでに、熊本市立田迎西小学校の児童27名と、熊本市立託麻南小学校の児童20名が受講しました。最初は水が苦手で不安そうなお子も、次第に笑顔が見られるようになり、「自信が持てるようになった」「水泳が好きになった」「学校の授業が楽しみ」など、たくさんの喜びの声を聞くことができました。

6月19日(金)、益城町立津森小学校では、今年で3年目となる出張授業も行いました。全校児童が参加し、泳ぎの基礎を学びました。

むさしYMCA 山田幸平



熊本市立御幸小学校での水上安全講習会



親子で着衣泳を体験

「Yっこ教室」がスタート!

YMCA水前寺幼稚園では、昨半夏の園舎リニューアルを機会に、放課後教育事業「Yっこ教室」を5月よりスタートしました。

子どもたちの可能性を伸ばし、興味や関心を高めていくのが目的。幼稚園の保育が終わった後や土曜日の空き教室を利用して、個人ピアノ教室、書道、そろばん、ヒップホップダンスなど、幼稚園の教育時間内では取り組むことが難しい様々な教育・文化的内容を、使い慣れた園舎の中で体験ができるようになっています。また、保護者の就労など

預かり保育が必要な園児は、お迎えまでの時間を利用することも可能です。

7月からは園児以外も受講可能な「えいごデイクャンプ」が新たに始まり、8月にはチャダンスの開講を予定しています。

今年度は、在園児を対象としたプログラムを中心に実施。将来は、在園児の兄弟、卒園児、地域の子どもたちにも

枠を広げて、開かれた幼稚園として取り組んでいく予定です。

水前寺幼稚園 井上和美



楽しみながら野外活動のリーダーに！ キャンパーズコネクションを開催

熊本YMCAが指定管理者として運営している大牟田市の多目的活動施設「リフレスおおむた」。その主催事業として、大牟田市の高校生と大学生を対象に「2015年度キャンパーズコネクション」を開催しました。キャンパーズコネクションとは、同施設で行う野外活動(キャンプ)で、参加者が安全に楽しく活動できるよう支援する指導者またはボランティアリーダーを養成する事業で、今年で3回目を迎えます。

6月27日(土)には講義やレクリエーションを実施。7月11日(土)～12日(日)には46名が参加して、子どもたちへの目の配り方、危険を事前に予知するトレーニングや、カレーやバームクーヘン作りなどの野外活動を体験しました。

12日は、同じく主催事業である「農業生活体験」がまだす隊に参加している小学1年～3年生の子どもたち28名とともに野外活動を行い、リーダーとして関わりました。体育館でゲームをした後は、屋外での昼食です。参加者は焼きそばなどを作りながら、元気に走り回る子どもたちに声をかけたり、一緒に遊んだり…。にぎやかで楽しい時間の中にも、学んだ知識をしっかりと活かそうとする姿が見られました。



藤澤天音さん
大牟田高等学校2年

高校のボランティア部に所属し、地域の高齢者施設や障がい者施設などを訪問しています。生徒会にも所属しているため、リーダーシップを養いたいと思い、今年初めて参加。他校の生徒ともすぐに仲良くなれました。子どもに話を聞いてもらうためには、命令するのではなく、「一緒にあっちに行こう」と言うなど、言葉を選ぶ大切さを学びました。今後のボランティア活動の際にも、役立つ体験ができたと思います。



沖 藍里さん
帝京大学福岡医療技術学部
看護学科2年

看護師を目指しているため、様々な年齢の人と接することができるようになりたいと思って参加しました。子どもと接する時は、座って視線を合わせ、理解してもらえらる言葉で話すことを心掛けました。また、ふだんは人前でリーダーシップをとる機会がないので、リーダー体験もできて良かったと思います。

一人で参加しましたがとても楽しく、大学のテスト前にもリフレッシュできました。また参加します。



武藤咲良さん
ありあけ新世高等学校2年

子どもが好きで、ふれあいたいと思って昨年も参加。座学も子どもとの時間も楽しく、役立つことばかりだったので、今年も来ました！座学などで野外活動におけるきちんとした知識を得られたからこそ、子どもとも自信を持って接することができるようになったと思います。昨年は大人のリーダーの指示を聞いていましたが、今年は班長になりました。自分なりに考えて皆を指導することができたのではないかと、達成感でいっぱい입니다。

リーダーと楽しい2日間 サザンキャンプ・スマイル キャンプ開催

7月19日(日)～20日(月・祝)、1泊2日の日程でみなみYMCA「サザンキャンプ」、ながみねファミリーYMCA「スマイルキャンプ」が開催されました。それぞれのYMCAに通う子どもたちが対象。日頃、関わっているリーダーたちとハイキングや水遊びなどの野外活動を楽しみました。

サザンキャンプは豊野少年自然の家に宿泊。解散式でベストキャンパーに選ばれた小学6年生の堀七奈子さんと住吉心水さんは「これからもキラクターデイベロップメントを忘れず行動していきたいと思います」と宣言してくれました。

スマイルキャンプは阿蘇YMCAが会場。キャンプファイヤーではグループ毎に出し物を考えて発表しました。一人ひとりが役割を持って、一生懸命発表する姿が印象的でした。

両キャンプ

とも、自分のことは自分で行い、参加者同士で協力をする場面が多く見られ、子どもたちの成長を感じることができました。



キャンプファイヤー(スマイルキャンプ)



楽しい水遊び(サザンキャンプ)

REPORT

児童養護施設への理解を深める 企業の社会貢献セミナー

■日時/7月8日(水)16時～16時30分
■場所/肥後銀行本店

YMCAファイランソロピー協会が児童養護施設の子どもたちを招き、開催する交流キャンプ。様々な事情で家庭を離れて暮らす子どもたちを迎える前に、児童養護施設菊水学園施設長の松本孝一郎さんを迎え、参加企業へのセミナーが開かれました。



松本さんは、子どもたちの現状を紹介。声のかげ方や接し方、注意点を語りました。参加者は熱心に聞き入り、具体的な言葉の選び方などを質問。キャンプに向けての心構えを新たにしました。

2500回記念熊本朝禱会

■日時/6月20日(土)7時半～9時半
■場所/熊本ナザレン教会



毎週土曜日に実施している熊本朝禱会の2500回を記念する感謝朝禱会が行われました。朝禱会は超教派の祈りの運動として1967年に熊本YMCAで第1回が行われて以来、会場を変えながら休むことなく続いていきます。記念礼拝では愛泉祈禱院終生院長の日高範嘉さんが奨励。「熊本バンドの祈りの働きが、世代を超えて影響をもたらしていることを忘れることはできません。それほど祈りの力は素晴らしいです」等のメッセージが語られました。

熊本朝禱会 歌野清三

タラント No.17

総主事 岡 成也

共に歩むところ

いじめや自殺など、いのちの尊さ、大切さが軽んじられる、子どもたちの悲しい出来事が続き、心が痛みます。また、私たちの暮らす地域社会では、強い言葉、口調で人から責められ、トラウマになり、最後には社会生活に困難を覚える人がおられます。ありのままの自分で生きることが出来る社会を創造するには、一人ひとりが多様な価値観と共生することが大切だと感じます。

幼いころからどのような学びと体験をするか、子どもたちの未来創造の責任は私たち大人にあります。次世代の育成を願って、積極的に声をかけ、ふれあうことから始めましょう。子どものよきモデルとなる努力をしている大人の姿は、子どもたちの生きる力の源です。大人が一生懸命生きていく姿を示していきましょう。

世の中には、自分の思い通りにはならないことがあると知ること大切です。生きていく上での様々な場面での人間関係で、「討論」をするのではなく「対話」する

手法を体現する機会が必要です。私たちは自分だけで生きているわけではありません。共に支えながら生きている社会の在り様を積み上げて、対話の重要性を子どもたちに示していきましょう。

YMCAは、イエス・キリストの生き方＝「人間が人間として互いに認め合い、大切にしよう」「弱っている人、困っている人のそばに居る心」を基盤としています。このことを基に、人間の生命＝「神から与えられ、ゆだねられた生命」の尊さ、生まれたときから人間に与えられている人権の大切さを確認しながら活動を展開しています。神様からゆだねられた大切な生命を守り育て、担い手としての私たちの高いモラルが求められています。

自分を飾らず、守らず、ありのままに相手にぶつかっていく勇氣、相手を恐れなくて受容する心、ありのままの私たちに受け入れ、全てを愛して下さる神様にゆだねて歩みたいものです。

「あなたたちは真理を知り、真理はあなたたちを自由にする。」

(ヨハネによる福音書8章32節)

行事カレンダー 8月

- 2(日) 上通YMCAチャリティ市場
YMCA学院オープンキャンパス⑥(拡大版)
4(火) 国際青少年平和セミナー(広島YMCA ~6日)
7(金) あそぼうキャンプ(阿蘇 ~9日)
8(土) 国際ユースボランティアミーティング(上通)
9(日) YMCA学院オープンキャンパス⑦
10(月) こどもスポーツスクール休講(~15日)
17(月) コスモスキャンプ(阿蘇 ~18日)
19(水) 水前寺幼稚園夏期登園日
YMCAフィランソロピー協会幹事会
20(木) 委員研修会
21(金) 国際ユースボランティアミーティング(上通)
永草保育園夏祭り
22(土) 赤水保育園夏祭り
黒川保育園夏祭り
夏の星空観望会(リフレス)
23(日) タイユースワークキャンプ(~31日)
YMCA学院オープンキャンパス⑧
29(土) 車帰感謝祭(阿蘇)
おがしまつり(尾ヶ石)
30(日) 第2回むさしマルシェ
YMCA学院オープンキャンパス⑨
サマーキャンプ思い出会

TOPICS 地域YMCAにまつわるトピックを順番にご紹介します。

緑の下の力持ち“学生サポーターズ”

学院



学生サポーターズとは、オープンキャンパスの際に、受付、誘導、茶話会の準備などの役割を担う有志の在学生のことです。お揃いのオリジナルTシャツに身を包み、笑

顔で参加者を迎えてくれます。

時には出身高校の後輩と思いがけず再会し、会話が弾む場面も。現在学生サポーターズに登録している学生は1年生を中心に59名に上ります。中には3年連続で登録しているベテランもあり、職員並の働きでオープンキャンパスの運営を支えてくれています。

学生サポーターズが活躍するオープンキャンパスの詳細はWebページをご覧ください。

YMCA学院 尾道一幸



ネパールからの留学生

東 部



YMCA学院日本語科にはネパールからの留学生が16名在籍しています。YMCAではネパール大震災直後より、現地の復興支援の他、日本にいるネパール人留学生の支

援も行っており、留学生たちは自国や家族のことを心配しながらも、学校で勉強に励んでいます。

そのような中、6月13日(土)に東部YMCAで企画したマンマーエイズ孤児支援のチャリティイベント「どろんこバレー大会」に協力したいとネパール人留学生のサントスさん、ロビンさん、ディバカーさん、クリスナさんの4名が参加しました。自分たちが不安を抱える時にも、他の支援を必要とする人々を思いやる留学生の姿にたくましさを感じました。

東部YMCA 熊本哲朗

情報ピクア7

YMCA祭

国際協力青少年育成年末募金、東日本大震災復興支援金及び、各地域YMCAの諸活動のためのチャリティ活動として、YMCA祭を行います。

9月はみなみYMCAサザンフェスタ、ながみねファミリーYMCAながみね祭を開催します。ご家族ご友人お誘い合わせの上、お越しください。

～平和な世界 明るい未来 笑顔いっぱい～ サザンフェスタ2015

日時:9月6日(日)11:30~15:00

会場:みなみYMCA

(熊本市南区田迎5-12-50)

内容:ステージ発表、のみの市、バザー、ゲーム、模擬店、大抽選会など

お問合せ/みなみYMCA TEL096-378-9370 FAX096-378-9383

～ファミリーから世界がつながる 届け!平和の輪、みんなのWA～ ながみね祭

日時:9月19日(土)16:00~20:00

会場:ながみねファミリー YMCA

(熊本市東区長嶺南3-1-107)

内容:夜市、各種発表会、お祭り広場、抽選会、のみの市、バザー、ゲームなど

お問合せ/ながみねファミリー YMCA TEL096-385-0676 FAX096-385-0649

Kumamoto YMCA Network

- 中央YMCA ☎096-353-6391
YMCA学院 ☎096-353-6393
YMCA学院高等学校 ☎096-353-6391
本部事務局 ☎096-353-6397
みなみYMCA ☎096-378-9370
上通YMCA ☎096-352-2344
東部YMCA ☎096-382-6661
ながみねファミリーYMCA ☎096-385-0676

- むさしYMCA ☎096-248-6334
阿蘇YMCA ☎0967-35-0124
尾ヶ石保育園 ☎0967-32-0213
永草保育園 ☎0967-32-0810
赤水保育園 ☎0967-35-0024
黒川保育園 ☎0967-34-0402

- 水前寺幼稚園 ☎096-362-4141
就労支援センター ☎096-312-1333
リフレスおおむた ☎0944-58-7777
御船町スポーツセンター ☎096-282-4111
益城町総合運動公園 ☎096-289-2433

発行所/公財熊本YMCA
〒860-0873 熊本市中央区新町1-3-18
TEL096-353-6397
発行人/岡 成也
編集人/神保 勝己
定価60円
購読料は会費を含む

2015年度基本聖句

どんな願い事であれ、あなたご自身の力で叶えたいなら、わたしの天を頼む。あなたご自身の力で叶えたいなら、わたしの天を頼む。

熊本YMCAの使命

共に生きる社会
生涯学習の推進
ボランティア活動

地球環境の保全
ウエルネス活動
平和な世界

ホームページ
www.kumamoto-ymca.or.jp
メールマガジン登録
www.kumamoto-ymca.or.jp/cgi-bin/mail/mail.cgi

